

L o v e l i y W i n d

# あいのかぜ!!

VOL. 4

1997・春号

富山市女性情報交流誌

いろんなこと、私たちで考えてみませんか。



好きなこと de Go!

~自分の風をあこそう~

わたし達は···  
**TRY  
ME!**  
···今輝いています。



結婚や子育てで、仕事をやめてしまったけれど  
子育てが一段落したら働きたい···。  
夫の転勤や両親の事、いろんな理由で辞めてしまつたけれど、自分を生かせる仕事を再びしたいと思う女性たち···。  
そんな女性の働き方を考えてみました。

# パートのひと言いわせて！

ドイツに行きたいという夢があるんです。  
給料の一部を貯金して将来の大きな夢の資  
金にしたいと思っていますが、現実はなか  
なかきびしく、生活費にまわす事もあります。

子供も手を離れ、働こうと思いました。  
本当は事務希望なのですが、いろんな経験  
も自分を育てるのかなと思って···。  
働き始めたら生活にメリハリがついていい  
ですよ。

人間関係が最低。  
成績も常にについてまわるので、どうしよ  
うかと悩んでます。でも一時間800円は魅  
力！小さい子がいると企業はなかなか雇つ  
てくれないんですよ。

(30代 水橋 Rさん)  
食品製造業 1h735円×4時間

(30代 新庄 Nさん)  
ファーストフード 1h800円×5時間

(40代 北代 Wさん)  
電話受付 1h800円×4時間

看護婦経験を生かし、予防接種のお手伝  
いをしています。地域のお母さんとコミュ  
ニケーションを交わすのも楽しい。毎日で  
はないので、自分の時間をもてるのもいい  
です。緊張感もいいし、自分にできる事を  
やって人の役に立てるのなら嬉しい。

時間に拘束されるのがイヤで家にいて自由に仕事ができる訪問販売をしてています。  
収入を得るだけでなく、人間関係も広がり、  
自分にピッタリ！このリズムは気に入っています。  
るので今後も、続けたいと思います。

(30代 牛島 Kさん)  
訪問販売 歩合

(30代 山室 Tさん)  
銀行事務 1h700円×4時間

一日中、このまま家にいるのも退屈···。  
家のローンや子供の教育費もかかりますし  
ね。きりつめても生活はやってゆけますが、  
たとえ少額でも、自由に使えるお金があ  
ると、何か安心なんですよ。

とっても快適。体力的に少しきついけど、  
ボーナスももらえるし、急な休みもとれる  
し。人間関係もとってもスマーズ。  
近いというのが、最優先です。

(30代 上袋 Oさん)  
食品配達 1h700円×4時間

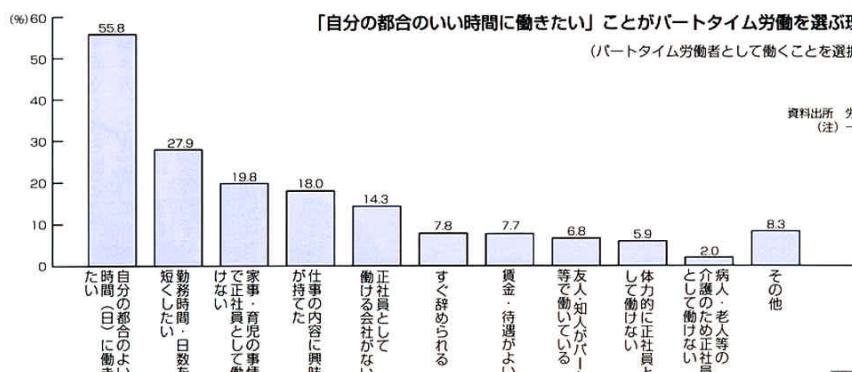
(30代 四ツ葉町 Tさん)  
クリーニング業 1h800円×4時間

ただの主婦で終わるのはイヤです。いつ  
も自分がキラキラしているみたいので、いろんな  
事に興味を持ち、今やりたいと思った事  
を、仕事にしたいと思います。

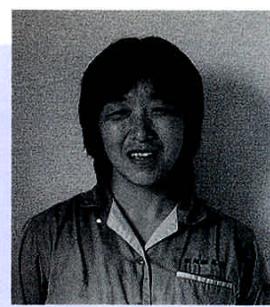
(20代 岩瀬 Kさん)  
下着販売 1h750円×5時間

# Working

—あなたの可能性見つけてみませんか…—



資料出所 労働省「パートタイム労働者総合実態調査」(平成7年)  
(注)一般の正社員より所定労働時間が短い非正社員が対象



井澤伸子さん



石坂ひとみさん



吉崎るみ子さん



❖ 結婚後、フルタイムで働いていましたが、末の子の出産を機にそれまでの会社を辞め、技術を身につけたいと職業能力開発センターエクスティリア造園科で、6ヶ月間修学しました。体を動かす事が好きなので雪遊びなどの実習も楽しかったです。

❖ 子育て中の間で、6時間だけ働いています。この会社は男女差がなく就業規則もきちんとしているので働きがあります。今まで学んだ造園の知識以外にも土木や製図など勉強してきたんですね。最近、ワープロの試験を受け資格を取りました。

❖ 周囲の人人に恵まれ、楽しく働いています。いろいろ学び、今以上に必要とされる人になりたいと思います。



❖ トールペイント(木などの身近な素材をアクリル絵の具で彩色するインテリア装飾)は雑誌で知りました。絵が好きなので興味を魅かれ、教室に通い楽しみながら免許を取得しました。

❖ トールペイントは、難しそうだけど、動物や花などの図案をもとに描けるので誰にでもできますよ。去年の4月から教室を開いていますが、生徒の皆さんに教える事によって、いつも初心にかえれる気がします。

❖ 春になつたら生徒の皆さんとの作品展を開こうと今、準備中です。

❖ トールペイントを使って出来るステキな作品で富山の人達にその楽しさを知つてもらいたいです。

## 緑花と親しむわたしの時間

❖ 結婚後、フルタイムで働いていましたが、末の子の出産を機にそれまでの会社を辞め、技術を身につけたいと職業能力開発センターエクスティリア造園科で、6ヶ月間修学しました。体を動かす事が好きなので雪遊びなどの実習も楽しかったです。

❖ 結婚後、フルタイムで働いていましたが、末の子の出産を機にそれまでの会社を辞め、技術を身につけたいと職業能力開発センターエクスティリア造園科で、6ヶ月間修学しました。体を動かす事が好きなので雪遊びなどの実習も楽しかったです。

## 手づくりで夢いつぱい

❖ トールペイント(木などの身近な素材をアクリル絵の具で彩色するインテリア装飾)は雑誌で知りました。絵が好きなので興味を魅かれ、教室に通い楽しみながら免許を取得しました。

❖ トールペイントは、難しそうだけど、動物や花などの図案をもとに描けるので誰にでもできますよ。去年の4月から教室を開いていますが、生徒の皆さんに教える事によって、いつも初心にかえれる気がします。

## あなたの笑顔に逢いたくて

❖ 富山県看護協会主催の講習会を受講し、訪問看護の認定を受け仕事をしています。病気や障害をもつた方のお宅を尋ね、看護を行っています。地域や社会とのかかわりの中でバイブル役をつとめられることに誇りをもつています。

❖ 人の出会いが、人生で一番の楽しみですし、大切な事だと思います。この仕事を通じて、いろいろな人出会え、人の心の奥深さに接する事もできました。在宅看護をつける方々の身体の看護だけでなく、心のケアにも努め、頑張る気持ちが高まる様なお手伝いがしたいですね。

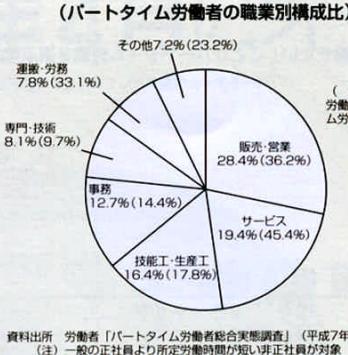
❖ 訪問看護の仕事をする人が増えていくと思いますが、私達が実績をつみ、地位向上させていきたいと思います。

平成7年度のパート労働者は89万人（雇用労働者の17.4%）であり、その7割は女性です（総務省の調査より）。パート労働を家庭と仕事を両立できる働き方”“仕事にしばらくない働き方”と肯定的にとらえることもできますが、実際には、正規の労働者に比べて十分でない雇用管理の下で働く不安定な立場の女性が多いのが現実です。

その背景には、家事や育児は女性の仕事といった社会の意識や女性がおかれている、家事や育児をこなしながら働くかなければならぬといった状況、女性の家事労働に支

目的をはつきりと持つこと、自分の能力を高める努力が要求されています。女性の生涯、そして子育て後の人生の長さを考えると、それぞれが豊かなライフスタイルを築くためにも、職業を持つて過ごすことが重要になっています。働く女性が増え、個人の能力や家庭の状況からフレックス、フルタイムなど働き方を選ぶようになっていくにあれば、男性の仕事中心のライフスタイルも変わっていくのではないかでしょう。男女差なく、お互いの個性に合った仕事の仕方、家事・育児の分担、そして充実したプライベートの過ごし方をできるようになるためにも、今の生活の中から、自分の可能性を摸索し、努力しながら、社会にむけて発言・行動していくことが大切だと思います。

このページでは、そうした社会や女性の変化を背景に、男性の家事に対する意識を探ります。シングル、単身赴任など生活形態の変化から男性の一人暮らしも増えてきました。そんな彼らに家事について語ってもらいました。



えられている男性の働き方などがあると考えられます。短時間労働であるパートのよさが理解され、多様な働き方の一つとして選択されるためには、雇用する企業がパート労働者と長時間労働者の賃金や待遇に差がないよう努めるとともに、能力を正しく評価し、納得のいく仕事を提供するなど広く門戸を開いていくことが重要です。そしてまた一方で就業を望む女性の側にも、

### パートについての相談は

- パートバンク ☎ 91-3741
- 職業能力開発校
- 職業能力開発促進センター ☎ 51-3504
- 短時間労働援助センター ☎ 44-2020
- (財)法人21世紀職業財団



1人暮らし歴  
3年



谷口岩人さん(58歳)  
会社員 滋賀県出身



柚原芳隆さん(22歳)  
学生 岐阜県出身

1人暮らし歴  
3年

兄弟が六人いたので小さい頃から家の手伝いはしておりました。結婚してからも共働きだったので、料理、洗濯、掃除と何でも自分でできます。全く苦ではありません。単身赴任している今、やるようになります。洗濯は週二回のペース。家事っていうのは「私は家で好きなのは洗濯かな。襟ぐり、で食事はそこで食べる外食がメイン。時々スーパーで惣菜も買うけど、栄養も考えてインスタント食品ばかり食べないように心掛けてる。最近家事をしたがらない女性もいるって聞くけど、男にだって家事の嫌いな奴と好きな奴がいるんだから、それはそれでいいと思う。僕は一人暮らしを始めてから家事が楽しくなったね。ちなみに得意料理はスペゲッティです。おいしいぞ！」

家事で好きなのは洗濯かな。襟ぐり、で食事はそこで食べる外食がメイン。時々スーパーで惣菜も買うけど、栄養も考えてインスタント食品ばかり食べないように心掛けてる。最近家事をしたがらない女性もいるって聞くけど、男にだって家事の嫌いな奴と好きな奴がいるんだから、それはそれでいいと思う。僕は一人暮らしを始めてから家事が楽しくなったね。ちなみに得意料理はスペゲッティです。おいしいぞ！

# *House —Keeping !*



## 1人暮らし歴 4年

山田俊行さん(27歳)

TVカメラマン 東京都出身

富山で就職して以来、2Kで一人暮らし。「部屋に自分の座高より高い物は置かない」というポリシーを貫いて、シンプルな生活を心掛けている。得意と言える家事は特にないなあ。でも掃除は週に一回必ずしているよ。仕事が忙しくてまめにはできないから、この時は掃除機もかけて徹底的にやる。洗濯も週に一回。よく着るフリース系の物は毛玉にならないよう裏返して洗っている。料理は、余分な食器を洗わないとも考えて、シンクの排水口には細かい目ネットをかけている。洗剤も環境に優しい製品を使用。大変なのがゴミの処理。週二回のゴミの日までに家事は快適に生活する為の最低限の事ないよう袋に入れて冷凍している。お互いにそこそこできたらしいという感じかな。



1人暮らし歴  
17年

大島具視さん(35歳)  
会社員 静岡県出身

共稼ぎや単身赴任も増えてるし、家事に性別は関係ないと思いますよ。僕は皿洗いなんかがわりと好きです。きれいになると心が落ち着きますね。職場でも、店屋物をとつたりすると、食器が給湯室にそのままになつていることがあるのですが、別にだれの食べたものだとかは関係なく、みんな手が空けば自分のと一緒に洗います。女性社員もいますが、彼女達は僕らと同じく仕事をしに会社に来ているのであって、そういうことを女性だからというだけ



1人暮らし歴  
**10ヶ月**

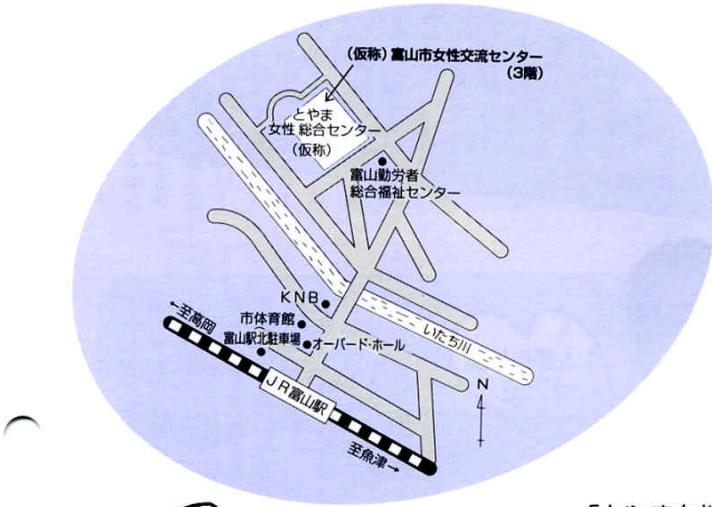
高橋 俊さん(48歳)  
会社員・東京都出身

とにかく仕事柄、全国転勤が度々あるし、忙しくて部屋に帰っている暇がないんですよ。だから家事はほとんどしないね。食事は外食。洗濯は月に一度、家族が来る時にしてもらう。宅配便で送ろうかと本気で思ったこともありましたよ。でも掃除は気が付いた時にやるようになります。風呂掃除はまぬけてしているかな。まあ、家事といつてはも生きる上で必要最低限の事しかしないし、何よりも忙しすぎてできないので、一人暮らしだから特にどうということは感じない。家事への意識が一人暮らしで変化したということもない。家事はしたら面白いとは思うんだけどね。家にいた時も仕事が忙しくて何もしなかつたけど、もしまだ家に戻つてしまふと何を変わらないと思うな。

A large blue circle containing the Japanese character '男' (man). Below it is a black line drawing of a traditional Japanese cooking pot (kettle) with a lid.

男性は家事が出来る方が絶対いいというのは佐藤美雨さん（19）。「小さい頃から家事をするのが自然な環境を作るのも大切」。今、学校でも家庭科の授業を男女一緒にするなど工夫が始まっていますが、「大賛成」。これから的人生で必ず役に立つんだから、分担を決めて家事をすることを若い子にも身につけて欲しい」と地橋笑子さん（50）。浦田朋子さん（24）は「でも家事にこだわる過ぎる人はちょっと。もし何かと文句を言われたらイヤ」、西村京子さん（62）は「家事には自分のやり方があるので何もしない男性のほうが楽」とのこと。「男性は基本的に家事は嫌いじゃない」との説は小林優子さん（32）から。「興味関心はあるけどするかしないかの違いだけ」。鈴木ユカリさん（53）も「富山は封建的な考えが強いが、親が息子に家事はするなど口を出していたら、今時の若夫婦はうまくいかない。だからコミュニケーションひとつとして家事はどうどんどんさせるべき」と言っています。

# が平成9年4月にオープンします！



3階に  
入居します。

「とやま女性総合センター(仮称)」サンフォルテ全景



皆さんの工夫で、いろいろにご活用ください。

「(仮称)富山市女性交流センター」を皆さんのが、より身近なものとして、積極的に利用していただけるよう、ここに紹介します。

平成9年4月に富山駅北地区で完成予定の富山県「とやま女性総合センター(仮称)」、「(仮称)サンフォルテ」内に「(仮称)富山市女性交流センター」がオープンします。

男女の自立とあらゆる分野への共同参画を促進し、豊かな男女共生社会の実現を図るため、市民の皆様にご利用いただく学習、活動、交流等の拠点施設です。

男女の自立とあらゆる分野への共同参画を促進し、豊かな男女共生社会の実現を図るため、市民の皆様にご利用いただく学習、活動、交流等の拠点施設です。

- 「女性交流センター」は何を目的としてつくられたの？  
性別にこだわることなく、女性も男性も一人の人間として個性と能力を発揮して家庭、地域、職場などあらゆる分野とともに参画し、責任を担い合う調和の取れた社会の実現を図るために活動拠点となるよう設置されました。

- 「女性交流センター」つていうことは、女性しか利用できないの？  
いいえ、そんなことはありません！

女性問題を解決して住みよい男女共生社会を築いていくためには、女性問題は同時に男性問題であるという認識のもと、市民一人ひとりが女性問題を自分自身の問題としてとらえていかなければいけません。男の人もお互いにご利用下さい。

- 「女性交流センター」では、どんな事業を行うの？  
各種学習・活動の拠点として、市民の皆さんの主体的運営を目指しています。

- 事業としては、
  - ・女性の人才培养、女性問題の啓発や男女自立促進に向けた講座
  - ・市民の皆さんによる自主的な各種企画や発表、交流活動などを計画しています。

● 県の女性総合センターの中には、「女性交流センター」の他にどんな施設があるの？  
県の「とやま女性総合センター」の構成は次のとおりです。

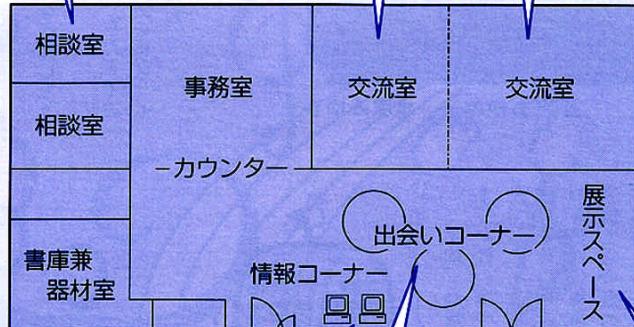
- 1階 情報とくつろぎの空間……ライブラリー・相談室など
- 2階 体験と交流の空間……生活体験実習室や多目的ホール・ミーティングスペース・団体交流室など
- 4・3階 自己啓発と研修の空間……研修室など

● 「(仮称)富山市女性交流センター」が、女性問題の解決のための拠点となり、また皆さんのネットワークの発信地となつておおいに役立つことを期待しています。それぞれが活用しあって豊かな男女共生社会を目指しましょう！

# 私達の(仮称)富山市女性交流センター



## 利用案内



●開館時間(予定)  
平日 午前9時  
～午後9時  
日曜日 午前9時  
～午後5時  
●休館日(予定)  
月曜日、国民の祝日  
年末年始

情報コーナー

県の「とやま女性総合センター(仮称)」(愛称)サンフォルテと連携を取りながら、各種女性関連情報を提供します。

出会いコーナー

テーブル・椅子を配置したオープンスペースです。少人数でのミーティング・交流に、どなたでも自由に利用できます。

展示スペース

面積：239.6m<sup>2</sup>

# MESSAGE

二年間、編集にたずさわってきた「あいのかぜ」も、この4号をもちまして私達三人は卒業する事となりました。

この「あいのかぜ」は男女共生社会の実現にむけ、市民一人ひとりが女性問題に関する正しい理解と認識を深める為に発行していますが何分素人の私達ですから多くの人に興味をもって読んでもらえるようわざりやすく楽しい情報誌をと心がけてきました。

今こうして振り返りますと、取材を通して出合えたステキな笑顔や、編集の時にアドバイスをいただいた人達、徹夜でつまいかない原稿とにらめっこをした時間……。どれもこれもいい思い出です。その中の一番は、始めた動機はそれそれ違いましたが、いつも一緒に考え悩んだり、笑ったりできるいい仲間ができた事でした。

富山県内市町村初の女性情報誌という事で無我夢中のままかけ足できましたが、これからもいろんな男性、女性にページを飾つてもらい、親しみやすい情報誌をつくってほしいとの願いを込めてペンを置きます。

最後に、この「あいのかぜ」を応援して下さった皆さん！

たくさんの事を勉強させていただき本当にありがとうございました。次の主役は、もしかしたら貴方かもしませんね。



加藤 町子 小原あゆみ 水原みゆき

とじておくと役立ちます

▼編集・発行 富山市役所市民部青少年課

〒930 富山市新桜町7-38

TEL 0764-43-2051 FAX 0764-43-2176 (年2回9月・2月号)

「あいのかぜ」へのご意見・ご感想などお待ちしております。  
富山市青少年女性課 (〒930 富山市新桜町7-38)  
までお送り下さい。

二年前、高規市より越して来ました。今まで女性の為の広報誌を見た事がありませんでした。女性の活動されている様子などを編集委員の方達が一市民の立場に立ってやわらかい広報誌を作つておられるのです。家族との会話のみの私ですが、「あいのかぜ」はとても明るい気持ちにしてくれます。

(上袋 中村さん)



輝いている男性を紹介するコーナーを、とっても興味深く読みました。

(長江 松田さん)

子育てを応援するいろいろなサークルが、とても見やすくわかりやすく書いてありました。子供と一緒に、お気に入りのサークルに行こうと思つてます。

(石金 安川さん)

富山の結婚式つて、習慣やしきたりにこだわるんですね。私は絶対ジミ婚です。

(長江 猿倉さん)

## COVER

「お母さんって絵が上手だねって娘にほめられたんですよ」と微笑む瀬戸敏子さん(呉羽在住)。昔、デザインの仕事をしていたがペンをとるのは10年ぶり。最近好評なのは、オリジナルのTシャツと、石に絵を描いたペーパーウエイト。バザーに出品したり人にプレゼントをして、とても喜ばれている。

お気に入りのメロディーにのつて春の足音がきこえるような表紙ですね。みなさんも春の序曲、伝わりましたか。瀬戸さんありがとうございました。



## See You